







熊本福祉センター 2023 年度事業報告

1. 2023 年度総括

第三の創業の最終年と銘打ち、ハード面においては、クリーニング大型機器の更新計画の策定と推進、食品加工棟の竣工、グループホームの用地買収に取り組み、運用面においては、障害福祉システム「ほのぼのmore」による計画・記録・報酬請求の一元管理を導入した。また、制度面においては、人事制度改革の第二弾として、人事考課制度と給与テーブルの見直しを実施した。多分野において幅広く活動した年度であった。

2. 2023 年度活動報告

各事業所共通の運営方針を以下の通り定め、活動を行った。Key Wordは「KAIZEN」とした。

Key Word KAIZEN		
大項目	中項目	SDGs
品質 向上	①IT化を推進し、支援や保育の質向上 ②職員が成長できる組織改革と人事制度の構築 ③設備や機器を更新し質の高いサービスや商品を提供	 
連携 協働	①地域社会とのつながりを強め、センターの認知度を向上 ②センターの一員として共に働く意識の醸成 ③開設20年や済生会学会熊本開催に向けた準備と情報発信	 
安定 経営	①利用者や園児の受け入れを推進し、地域社会に貢献 ②リスク管理(自然災害、機器故障、安全衛生)の徹底 ③収益力アップの取り組みと管理会計による経営強化	 

(1) 運営方針：品質向上に関すること

- ① 食品加工棟の竣工と新棟での業務開始
- ② 職員情報共有ツール「LINE WORKS」の本運用開始
- ③ 障がい福祉システム「ほのぼのmore」の本運用開始
- ④ 児童発達支援システム「HUG」の導入
- ⑤ センター内ホームページ「Bridge」の運用開始
- ⑥ 人事考課制度と給与テーブルの見直し

(2) 運営方針：連携協働に関すること

- ① 地元地域の夏祭り「天明夏祭り」へバザー出店
- ② 済生会内田秋祭りの開催
- ③ 障がい（疑い）のある乳幼児及び保護者を対象とした初期対応窓口の開設
- ④ 熊本城マラソンでの沿道と太鼓演舞の実施
- ⑤ パン工房ふわり地域感謝 Day の開催
- ⑥ 第76回済生会学会に7事業所12名の演題発表
- ⑦ 全国済生会福祉施設長会議の企画運営

(3) 運営方針：安定経営に関すること

- ① 支援学校実習、見学等の積極的な受入の推進
- ② 支援学校への継続的な訪問活動
- ③ しらふじ子ども園施設内防犯カメラの導入
- ④ グループホーム再編計画に伴う用地買収の実施
- ⑤ クリーニング事業クリーニング価格改定の実施
- ⑥ 誰一人取り残さない「定着支援」お断りゼロ件の達成

(4) 利用者数の状況

各事業所とも前年度より利用者（児）数の増加がみられた。グループホームについては、前年度を割る結果となった。全体的に復調傾向にあり、対前年度比1.5%増となった。

〈延べ利用者（児）数の推移〉

(単位：人)

事業所	定員	定員充足数		月間平均延べ利用者			
		2023年	2022年	2023年	2022年	前年差	増減率
かがやき	34	35	35	693	670	23	3.4%
ほほえみ	40	39	36	670	662	8	1.2%
ウイズ	57	51	50	1,034	1,013	21	2.0%
グループホーム	90	82	82	2,405	2,461	▲56	▲2.4%
なでしこ園	30	36	37	498	481	17	3.5%
しらふじ子ども園	175	183	184	3,339	3,221	118	3.6%
合計	426	426	424	8,639	8,508	131	1.5%

(5) 2023年度福祉センターの主な行事・取組み

		内 容
上半期	4月	新任式 障がい者スポーツ大会参加
	6月	アビリンピック参加
	7月	就労体験会
	8月	天明夏祭り
	9月	食品加工棟起工式、インスタグラム公式アカウント開始
下半期	10月	全国済生会就労支援協議会（静岡） 天明かかしコンテスト「銀賞」受賞
	11月	なでしこオータムパーティー
	12月	内田秋祭り
	2月	しらふじ発表会 済生会学会・全国福祉施設長会議
	3月	食品加工棟オープンセレモニー 第三者委員事業報告会